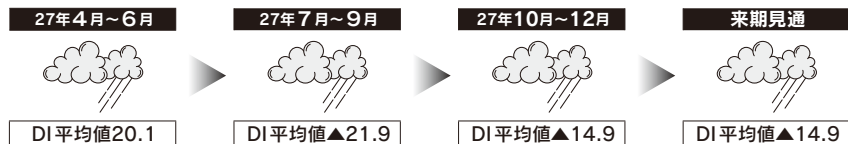


県内中小企業(製造業)景況動向

平成27年10月～12月期

一部では回復の兆しあるも、依然予断を許さない状況が続く

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲26.9	▲20.9	▲7.1	▲3.6

前年同期比の売上高D Iは3.6、収益性D Iは▲17.8で、両方を合せたD I平均値は▲7.1となり「小雨」模様がが続いている。来期見通しは3.5ポイント上昇して▲3.6となり「曇」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは27.6、収益性D Iは3.8となった。

また、雇用人員判断D Iは15.4、設備操業率D Iは19.2、設備投資実施率は27.6%となった。

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲17.9	▲30.0	8.0	▲12.5

前年同期比の売上高D Iは12.0、収益性D Iは4.0で、両方を合せたD I平均値は8.0となり「曇」模様に転じている。来期見通しは20.5ポイント下降して▲12.5となり再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲16.0、収益性D Iは▲15.0となった。

また、雇用人員判断D Iは31.5、設備操業率D Iは5.3、設備投資実施率は12.5%となった。



概況

売上高と収益性を合せたD I平均値(前年同期比)については▲14・9となり、前回調査(27年7・9月期)の▲21・9から7・0ポイント上昇している。来期見通しにおいては、今回調査と同じく▲14・9となっている。

売上高D I(前年同期比)については▲11・6となり、前回調査から5・5ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲14・6となっている。

収益性D I(前年同期比)については

▲18・2となり、前回調査から8・4ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲15・1となっている。

業況D I(前年同期比)については▲15・0となり、前回調査から6・8ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲13・3となっている。

原材料価格D I(前期比)については12・2となり、前回調査から4・2ポイント下降している。

販売価格D I(前期比)については▲3・8となり、前回調査から3・4ポイント上昇している。

資金繰りD I(前期比)については▲10・5となり、前回調査から

4・5ポイント上昇している。

金融機関の態度D I(前期比)については0・9となり、前回調査から0・9ポイント上昇して緩和している。

設備投資実施率については23・0%となり、前回調査より2・9ポイント下降している。また、設備投資計画率については38・6%となった。業種別で最も高い実施率となったのは、「プラスチック製品」の80・0%で、目的別では、「品質向上」が30・6%でトップであった。

設備操業率D I(前期比)については、▲1・5となり、前回調査から14・0ポイント上昇している。

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲26.5	▲39.9	3.1	▲9.4
前年同期比の売上高D Iは18.7、収益性D Iは▲12.5で、両方を合せたD I平均値は3.1となり「曇」模様に転じている。来期見通しは12.5ポイント下降して▲9.4となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは31.3、収益性D Iは6.2となった。 また、雇用人員判断D Iは▲6.2、設備操業率D Iは6.7、設備投資実施率は0.0%となった。			

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲35.0	▲40.0	▲31.9	▲18.2
前年同期比の売上高D Iは▲27.3、収益性D Iは▲36.4で、両方を合せたD I平均値は▲31.9となり「雨」模様がが続いている。来期見通しは13.7ポイント上昇して▲18.2となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲18.2、収益性D Iは▲36.4となった。 また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」ともに9.1%で0.0、設備操業率D Iは▲27.3、設備投資実施率は9.1%となった。			

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲33.4	▲6.2	▲27.8	▲11.1
前年同期比の売上高D Iは▲29.7、収益性D Iは▲25.9で、両方を合せたD I平均値は▲27.8となり「小雨」模様がが続いている。来期見通しは16.7ポイント上昇して▲11.1となり「小雨」模様がが続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲14.8、収益性D Iは▲12.5となった。 また、雇用人員判断D Iは▲20.9、設備操業率D Iは▲25.0、設備投資実施率は25.9%となった。			

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲7.2	▲30.6	▲39.8	▲38.7
前年同期比の売上高D Iは▲45.4、収益性D Iは▲34.1で、両方を合せたD I平均値は▲39.8となり「雨」模様がが続いている。来期見通しは1.1ポイント上昇して▲38.7となり「雨」模様がが続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲11.4、収益性D Iは▲21.9となった。 また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」ともに15.4%で0.0、設備操業率D Iは▲7.3、設備投資実施率は23.3%となった。			

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
0.0	▲16.6	▲30.0	▲10.0
前年同期比の売上高D Iは▲40.0、収益性D Iは▲20.0で、両方を合せたD I平均値は▲30.0となり「小雨」模様がが続いている。来期見通しは20.0ポイント上昇して▲10.0となり「小雨」模様がが続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とも20.0%で0.0、収益性D Iも「好転」、「悪化」とも20.0%で0.0となった。 また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは▲20.0、設備投資実施率は80.0%となった。			

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲13.7	▲11.6	▲4.3	▲6.1
前年同期比の売上高D Iは1.7、収益性D Iは▲10.3で、両方を合せたD I平均値は▲4.3となり「曇」模様に転じている。来期見通しは1.8ポイント下降して▲6.1となり再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは8.6、収益性D Iは4.3となった。 また、雇用人員判断D Iは10.9、設備操業率D Iは6.4、設備投資実施率は27.6%となった。			